

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2025年 2月10日		～ 2025年 3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	2025年 2月10日		～ 2025年 3月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○訪問先施設評価実施期間	2025年 2月10日		～ 2025年 3月10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校等で困りごとがある児童の対応、支援方法を本事業所での普段の本人の様子をよく知り対応している職員が対応できる。	本事業所で本人が落ち着いて過ごせる対応状況、環境作りなどの情報共有をおこなっている。	こちらから情報だけでなく、家庭での様子や、学校クラスでの様子をこれまで以上に考慮して安定した学校、集団生活に繋げたい。
2	保護者、利用児童と訪問先(学校等)と関係者会議等をはじめ、都度 話す機会を持つことで、よりよい支援方法が取り組んでいる。	関係機関との関わる機会をなるべく多く持つことで、情報共有、連携が図れる。	困り事や課題を関係者間で共有して、本人が集団生活の中で落ち着いて過ごるように、具体的に支援内容を挙げて取り組んでいく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	強い困りごと、緊急性が高い場合、即座に対応する事が困難。	普段は事業所で通所してくる児童の支援に当たっている職員が対応するため、緊急に対応する事が困難。	事業所内の基礎配置職員数(職員数増)に、ゆとりを持てれば柔軟に対応できる。
2	訪問日を決める際に、学校、保護者との調整が難しい。	本事業所の基本配置職員数の確保が必要なため、訪問日の調整が限られてくる。	上記の理由と同じになるが、保護者と日程を調整し、なるべく希望に沿った日程を組めるよう調整している。
3			